令和８年度

くまもと売れる米づくり
推進計画書



令和７年度「未来に伝えたい農業・農村の風景フォトコンテスト」
『Ineeee!! yeeeeah!!』

くまもと売れる米づくり推進本部

目　　次

はじめに…… 1
１．基本方針…… 2
２．生産対策…… 2
（１）需要に応じた計画生産による米づくり…… 2
（２）地域特性を活かした特色ある米づくり…… 2
（３）県産ＪＡ米の信頼の確保…… 3
（４）栽培技術向上対策…… 3
３．集荷対策…… 3
（１）計画生産による出荷契約の推進と履行…… 3
（２）系統集荷向上対策の実施…… 3
（３）関係法令の周知徹底…… 3
（４）集出荷施設における品質事故防止対策等の強化…… 3
（５）仕分け集荷対策…… 3
４．販売促進対策…… 4
（１）「くまさんの輝き」の認知度向上 …… 4
（２）大消費地での販売強化…… 4
（３）メディアやＳＮＳ、公共交通機関等を活用した
県産ＪＡ米の情報発信…… 4
（４）販売促進キャンペーンやイベント等による
県産ＪＡ米の認知度向上と販売促進…… 4
（５）くまモン・お米やんを活用した販促グッズの作成・活用…… 4
（６）関係部署と連携した輸出促進…… 4
５．食育・消費拡大対策…… 4

〈参考資料〉
主力品種生産・販売計画…… 5
熊本県産米価格の推移…… 6
水稲主要品種作付地域区分…… 7
令和７年産水稲地域別・品種別作付面積…… 8
水稲うるち玄米熊本県内銘柄別等級比率…… 9
令和７年産水稲の収穫量（九州・熊本）…… 10
令和７年産水陸稲の収穫量…… 12
令和７年産水稲の市町村別面積・収穫量…… 13
令和７年産水稲全国都道府県別順位…… 14
水稲累計統計（熊本）…… 15

はじめに

全国の令和７年産水稲の主食用作付面積は136万7,000haで、前年産に比べ10万8,000ha増加した。

全国の10ａ当たりの収穫量（主食用ふるい目1.7㎜）は547kg（作況単収指数102）、主食用作付面積に10ａ当たり収量を乗じた収穫量は746万8,000ｔで、前年産に比べ67万6,000ｔ増加した。

これは、主食用の作付面積が新規需要米や備蓄米等からの転換等があったことに加え、一部地域では５月上旬から６月中旬にかけての気温や日照時間が前年を下回る地域があったものの多くの地域で総じて天候にめぐまれたためである。

熊本県における令和７年産水稲の主食用作付面積は３万1,900haで、前年産に比べ3,100ha増加した。

水稲の10ａ当たり収穫量（主食用ふるい目1.7㎜）は525kg（作況単収指数107）、主食用作付面積に10ａ当たり収量を乗じた収穫量は16万7,500ｔで前年産に比べ１万8,900ｔ増加した。

米を取り巻く環境は、生産面では主食用米の収穫量が大幅に増加し、令和８年６月末の民間在庫量は221万ｔ～234万ｔが見込まれ、近年では高い水準で推移している。

一方で、令和の米騒動に起因する集荷競争から、概算金や相対取引価格が上昇し、米価の押上要因となっており、節約志向の高まりや、食生活の多様化を背景に米の消費減少が懸念されている。

そのようななか、農業を取り巻く環境は中東をはじめとする世界情勢の変化による生産コストの高騰や生産者の高齢化など厳しい環境が続いており、引き続き生産基盤の強化を図ることが重要となっている。

また、米価高騰によるお米離れを引き起こさないよう、食育を始めとする「ご飯食」の推進や、再生産可能な適正な米価形成など、消費者や流通事業者等への理解醸成を図ることが必要とされている。

１．基本方針

（１）生産対策として、需要に応じた生産体制の構築による生産者の所得向上に向け、県産ＪＡ米の信頼確保と地域特性を活かした良食味米づくり等に取り組みます。
（２）集荷対策として、関係法令の遵守や品質事故防止を強化し、実需者への安定供給による再生産価格の確保に取り組みます。
（３）販売促進対策として、消費形態の多様化等を背景とする需要の変化と米価高騰による消費減少に対応するため、マスメディアやＳＮＳを活用した県産ＪＡ米の認知度向上と販売促進に向けて取り組みます。
（４）食育・消費拡大対策として小・中学生を対象とした食農教育をはじめ、農業に対する理解促進と日本型食生活の普及拡大に向けて取り組みます。

２．生産対策

（１）需要に応じた計画生産による米づくり

①　需要に応じた生産推進

卸や実需者のニーズに応える米を安定的に供給し、県産ＪＡ米の有利販売につなげるため、県や関係団体と連携し、需要に応じた主食用米の生産を推進する。

②　実需者ニーズに基づいた生産体制の確立

農家・ＪＡと取引先・販売店との意見交換等により、実需者ニーズを把握し、ニーズに基づいた生産体制を構築する。

（２）地域特性を活かした特色ある米づくり

①　くまさんの輝きを中心とした良食味ブランド米づくり

「熊本県推奨うまい米基準」に基づき、県産米戦略プロジェクトチームや関係団体と連携し、作付面積が拡大する「くまさんの輝き」をはじめ、県産米の良食味米生産を支援するとともに、（一財）日本穀物検定協会が実施する「米の食味ランキング」での“特Ａ”獲得を通じた県産米の食味向上に取り組む。

②　高付加価値米づくり

地域特性を活かした特別栽培米、酒造好適米等を推進する。

③　多収性品種の普及

安定多収生産技術の確立と省力・低コスト技術の導入や団地化等の効率的な生産を推進する。

（３）県産ＪＡ米の信頼の確保

① 環境負荷軽減への取り組みと栽培基準に基づくＪＡ米の推進
② 残留農薬検査・ＤＮＡ鑑定等の実施
③ 生産者毎のサンプル保管と検査結果等の開示
④ 農産物検査技術の向上と検査員の確保

（４）栽培技術向上対策

① 高温対策等の栽培技術向上に向けた講習会・現地検討会の開催
② 特Ａ獲得に向けた適地集中型の技術指導
③ 優良産地研修の実施

３．集荷対策

（１）計画生産による出荷契約の推進と履行

① 出荷契約
米の価格安定のため、出荷契約の積上げと契約に基づく集荷を推進する。

② 事前契約・複数年契約
実需者の要望に基づく事前契約・複数年契約を推進する。

（２）系統集荷向上対策の実施

① くまもと売れる米づくり推進大会の実施

② 集荷体制の整備
集荷目標の必達に向けて、くまもと売れる米づくり地域本部、ＪＡグループ熊本集荷対策プロジェクトチームの活動に取り組む。

③ ＪＡ出荷米の明確化
ＪＡが取扱う米穀と、ＪＡ以外の米穀との区別を明確にするため、「ＪＡ出荷米専用袋」並びに「ＪＡ米刻印」の管理を徹底し、ＪＡが取扱う米の差別化を図る。

④ 多様な集荷手法の展開
出荷契約による共同計算の委託集荷や多様化する担い手・法人への集荷対策等に取り組む。

（３）関係法令の周知徹底

生産者・ＪＡに対し、関係法令を周知する。

（４）集出荷施設における品質事故防止対策等の強化

① 農業倉庫での保管・管理の徹底
② 農業倉庫や共乾施設での事故防止対策と環境整備への取組強化
③ ＣＥ運営管理・環境整備コンクール開催を通じた施設運営体制の強化

（５）仕分け集荷対策

県産ＪＡ米のブランド力向上のために、「熊本県推奨うまい米基準」に基づいた仕分け集荷に取り組む。

４．販売促進対策

（１）「くまさんの輝き」の認知度向上

① 「くまさんの輝き」のイベントや広報活動の実施

② 試食販売会やメディアを活用した認知度向上

③ テレビＣＭの年間放送による認知度向上

（２）大消費地での販売強化

① 大消費地（首都圏や関西地区等）での県産ＪＡ米の広告宣伝活動の実施

② 産地と消費地との交流会の実施

（３）メディアやＳＮＳ、公共交通機関等を活用した県産ＪＡ米の情報発信

① メディアを活用した情報発信

・テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等による情報発信

・大型施設等での広告掲載による情報発信

・ラッピングバスによる情報発信

② ＳＮＳを活用した情報発信

・ホームページやインスタグラム等を活用した情報発信

・ＬＩＮＥ等を活用したキャンペーンの実施

（４）販売促進キャンペーンやイベント等による県産ＪＡ米の認知度向上と販売促進

① 新米キャンペーン等による県産米のＰＲ

② イベント出展による県産米のＰＲ

③ 訪日外国人に向けた県産米のＰＲ

（５）くまモン・お米やんを活用した販促グッズの作成・活用

（６）関係部署と連携した輸出促進

５．食育・消費拡大対策

（１）地域本部におけるアグリキッズスクール・稲作体験の支援

（２）地場農産物を取り入れた米飯学校給食の推進や地産地消の取組強化

（３）ご飯食「お弁当の日」の実践と普及・推進

（４）くまもと農業フェアへの参画

（５）小・中学生を対象とした「ごはん・お米とわたし」図画コンクールの開催支援

（６）農業の多面的機能等をＰＲするＴＶの制作・放映への協賛

（７）マスメディアの有効活用

（８）子ども食堂やフードバンク等の生活支援団体との連携・推進

〈参考資料〉
主力品種生産・販売計画

品　種	生　産　・　販 売 計 画
くまさんの輝き	開発に15年の歳月をかけ、平成30年に本格デビューした期待の品種。 28年産米、29年産米食味ランキングでは参考品種ながら２年連続特Ａ評価（県北）を獲得しており、おいしさ・作りやすさ・高い品質により、熊本県産米を牽引するリーディング品種として取扱いが年々拡大し、令和７年産では4,048haとなった。 県民に愛されるお米を目指し、「熊本県推奨うまい米基準」にも取組み、消費者や生産者への認知度向上やイメージアップに取組む。
コシヒカリ	全国的なブランド品種で、産地の特性を活かした特別栽培米及びグリーン農業による生産・販売に取組む。 早期米：天草地区を中心に特別栽培米に取組み、県産米の先陣を切った早期販売に取組む。 普通期米：阿蘇地区を中心に特別栽培米に取組み、収量性の向上と良食味米向上対策に取組む。
ヒノヒカリ	西日本で広く生産されており、品質・食味が安定していることから、業務用・家庭用として幅広い需要がある。 過去には11年連続で特Ａ評価（城北・県北）を獲得するなど、県産ヒノヒカリは高い評価を得ている。 ＪＡグループ統一精米袋商品「三度のときめき」を中心に取組みを展開する。
森のくまさん	熊本県独自の良食味品種であり、食味ランキング（24年産米）において最高得点で特Ａ評価（県北）を獲得した実績がある。品質・食味向上対策に取組み、令和５年産では特Ａ評価（県北）を獲得した。近年は県外においても一定の認知度を得ている。 ＪＡグループ統一精米袋商品「森のくまさん」を中心に取組みを展開する。
くまさんの力	熊本県独自の良食味・耐暑性品種。 熊本市を中心に栽培がされており、学校給食にも採用されている。
酒造好適米	県オリジナル品種「華錦」を中心に契約栽培に取組み、県内需要者とのつながりを強化し計画的な販売を進める。
もち米	ヒヨクモチを中心に、もち米団地栽培に取組み品質向上に努め、播種前契約栽培や複数年契約栽培による安定販売を進める。

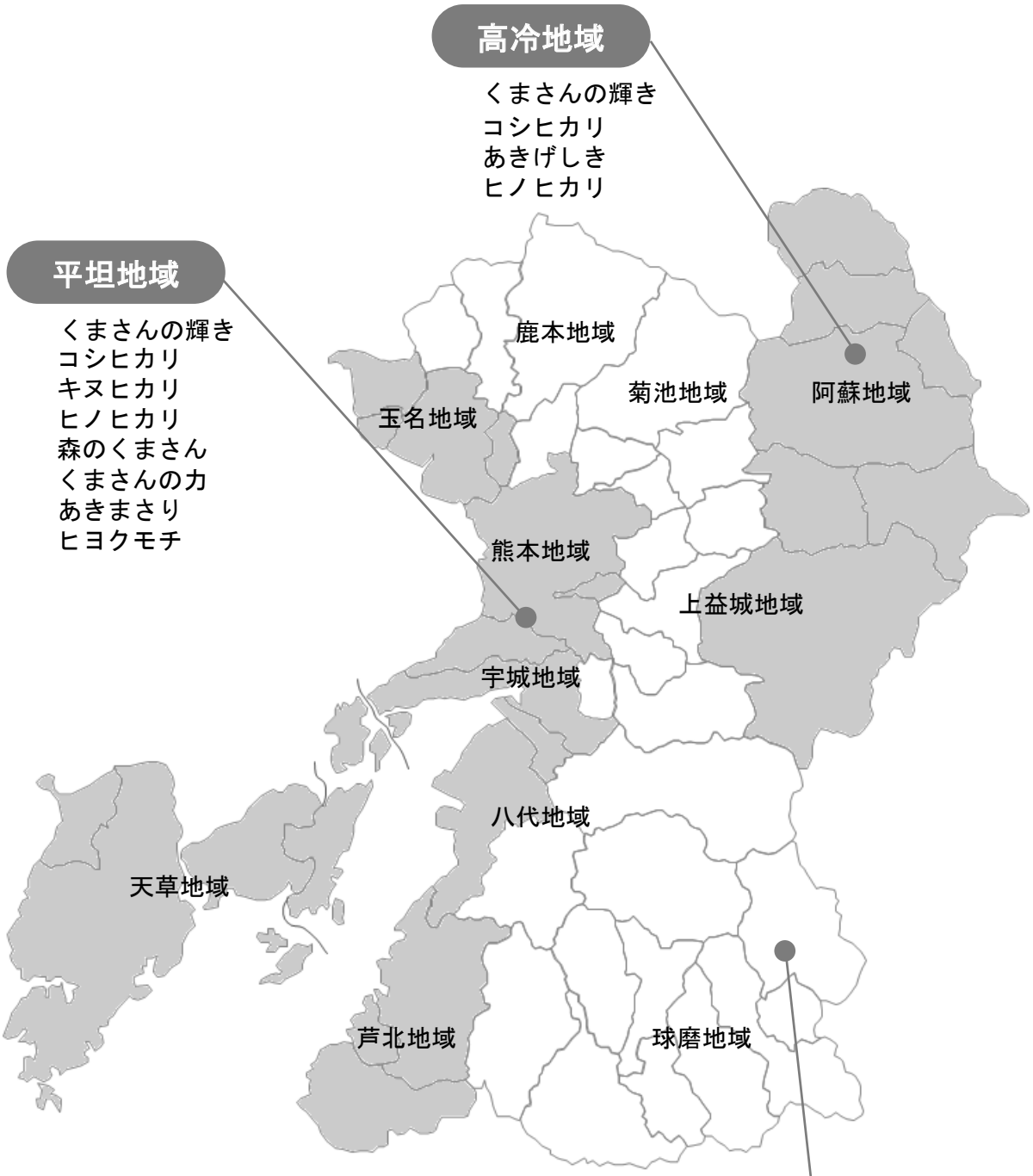
熊本県産米価格の推移

（単位：円）

	コシヒカリ	ヒノヒカリ	森のくまさん	作況指数又は作況単収指数
平成９年	17,470	16,664	－	100
平成10年	18,858	17,367	－	104
平成11年	17,347	16,411	16,347	81
平成12年	16,215	15,331	15,341	102
平成13年	16,323	15,300	15,305	103
平成14年	16,407	14,678	14,680	103
平成15年	22,056	18,799	18,708	96
平成16年	16,334	－	15,007	77
平成17年	15,695	14,439	14,403	93
平成18年	15,709	15,006	15,024	85
平成19年	14,868	13,741	13,625	100
平成20年	15,443	14,603	14,785	101
平成21年	14,726	14,105	13,957	100
平成22年	13,101	12,090	11,863	99
平成23年	16,245	15,059	15,273	101
平成24年	17,930	16,715	16,553	97
平成25年	15,249	14,612	15,039	97
平成26年	13,534	12,465	12,797	97
平成27年	14,793	13,659	14,386	97
平成28年	15,767	14,278	14,518	102
平成29年	15,521	14,876	14,514	102
平成30年	15,700	15,165	14,932	103
令和元年	16,000	15,380	15,399	94
令和２年	16,257	15,410	15,056	89
令和３年	15,088	13,235	13,199	97
令和４年	13,791	12,822	12,465	96
令和５年	15,242	14,821	14,442	104
令和６年	24,406	25,821	23,519	102
令和７年	35,388	36,166	－	107

※価格には運賃、包装代、消費税相当額が含まれる
※平成15年産米までは自主流通米の入札結果
※平成16年産米ヒノヒカリは、上場なし
※平成18年産米については、８月から19年10月までの加重平均
※平成19年産米については、８月から20年10月までの加重平均
※平成20年産米については、契約開始月から21年10月までの加重平均
※平成21年産米～平成24年産米については契約開始月から翌年10月までの加重平均
※平成25 ～令和６年産米については出回りから翌年の10月までの平均価格
※令和７年産米については出回りから翌年の４月までの平均価格
※令和７年産米から作況単収指数

水稲主要品種作付地域区分



令和７年産水稲地域別・品種別作付面積

R 8. 4. 7作成
（単位：ha）

品種名	熊　本	宇　城	玉　名	鹿　本	菊　池	阿　蘇	上益城	八　代	芦　北	球　磨	天　草	計	品種構成%
コシヒカリ	2	79	6	1	6	2,108	57	19	3	26	918	3,224	10.0
構成比	0%	2%	0%	0%	0%	65%	2%	1%	0%	1%	28%	100%	
にじのきらめき	10	15	2	1	0	16	0	437	0	13	2	497	1.5
構成比	2%	3%	0%	0%	0%	3%	0%	88%	0%	3%	0%	100%	
あきげしき	0	0	0	0	0	776	170	0	0	4	0	949	2.9
構成比	0%	0%	0%	0%	0%	82%	18%	0%	0%	0%	0%	100%	
ヒノヒカリ	950	952	2,476	927	1,772	368	2,046	1,482	421	1,641	258	13,294	41.2
構成比	7%	7%	19%	7%	13%	3%	15%	11%	3%	12%	2%	100%	
森のくまさん	1,039	1,535	612	326	12	150	124	409	12	23	15	4,257	13.2
構成比	24%	36%	14%	8%	0%	4%	3%	10%	0%	1%	0%	100%	
くまさんの力	504	2	3	0	0	0	4	119	6	0	5	644	2.0
構成比	78%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	19%	1%	0%	1%	100%	
くまさんの輝き	384	54	86	902	233	41	518	606	106	1,088	29	4,048	12.6
構成比	9%	1%	2%	22%	6%	1%	13%	15%	3%	27%	1%	100%	
あきまさり	274	126	60	13	1	0	1	45	1	1	0	523	1.6
構成比	53%	24%	12%	3%	0%	0%	0%	9%	0%	0%	0%	100%	
やまだわら	7	0	44	0	0	61	1	15	0	14	0	141	0.4
構成比	5%	0%	31%	0%	0%	44%	0%	10%	0%	10%	0%	100%	
山田錦	0	0	7	0	0	12	4	0	2	11	0	35	0.1
構成比	0%	0%	19%	0%	0%	34%	10%	0%	4%	32%	0%	100%	
華錦	14	0	0	0	0	1	3	0	1	0	0	18	0.1
構成比	76%	0%	0%	0%	0%	5%	15%	0%	4%	0%	0%	100%	
その他うるち	99	17	409	24	43	286	112	761	13	350	46	2,160	6.7
構成比	5%	1%	19%	1%	2%	13%	5%	35%	1%	16%	2%	100%	
ミズホチカラ	0	0	0	57	2	0	3	0	0	16	0	79	0.2
構成比	0%	0%	0%	72%	3%	0%	4%	0%	0%	21%	0%	100%	
水稲うるち計	3,283	2,780	3,706	2,252	2,069	3,820	3,041	3,894	564	3,187	1,273	29,868	92.6
構成比	11%	9%	12%	8%	7%	13%	10%	13%	2%	11%	4%	100%	
ヒヨクモチ	907	64	376	46	31	5	20	681	9	20	5	2,164	6.7
構成比	42%	3%	17%	2%	1%	0%	1%	31%	0%	1%	0%	100%	
峰の雪もち	0	0	0	0	1	12	0	122	0	1	22	159	0.5
構成比	0%	0%	0%	0%	1%	8%	0%	77%	0%	1%	14%	100%	
その他もち	0	0	1	2	3	4	3	1	1	27	16	59	0.2
構成比	0%	0%	1%	3%	6%	7%	6%	2%	1%	45%	28%	100%	
水稲もち計	907	65	377	48	36	21	23	804	9	48	43	2,382	7.4
構成比	38%	3%	16%	2%	2%	1%	1%	34%	0%	2%	2%	100%	
水稲計	4,190	2,845	4,083	2,300	2,105	3,841	3,064	4,698	573	3,235	1,316	32,250	100.0
構成比	13%	9%	13%	7%	7%	12%	10%	15%	2%	10%	4%	100%	

注）四捨五入やラウンドの関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。　※県水稲作付面積（子実用）公表値：32,200ha
注）地域別水稲作付面積は農林水産統計による。（子実用：主食用米、加工用米、米粉用米、備蓄用米、種子用米の合計）
注）作付面積は、令和７年産水稲の市町村別作付面積（農水省）に地域毎の品種別作付け割合を乗じて算出した。
注）地域別品種別作付割合は、＜参考データ＞を集計し、地域毎の品種割合を算出した。
注）熊本の作付面積は旧富合・城南町及び旧植木町の作付面積を含み、旧蘇陽町は上益城に含まれる。
注）今後、検査実績等により作付面積が修正されることがある。
＜参考データ＞
・熊本県農業共済組合水稲引受面積（支所別品種別）及び各地域営農計画書
・新規需要米取組面積（再生協議会別品種別新規需要米取組面積（申請結果））
・令和７年度指定種子生産ほ場申請面積
・農産物検査結果

水稲うるち玄米熊本県内銘柄別等級比率

単位（検査数量：トン、等級：%）

年産	作況指数又は作況単収指数	銘柄	検査数量	１等	２等	３等	規格外
令和７年	107 (102)	コシヒカリ	7,749	66.1	29.9	3.4	0.5
		ヒノヒカリ	23,576	21.7	71.7	5.9	0.7
		森のくまさん	8,625	5.2	85.0	8.9	0.8
		くまさんの力	2,010	49.3	46.5	3.3	0.9
		くまさんの輝き	14,694	38.7	54.5	5.7	1.1
６年	102 (101)	コシヒカリ	4,285	60.6	35.5	3.6	0.3
		ヒノヒカリ	21,687	18.6	75.6	5.4	0.5
		森のくまさん	9,705	4.5	92.4	2.7	0.4
		くまさんの力	1,887	41.8	55.7	2.3	0.2
		くまさんの輝き	10,641	44.7	52.3	2.6	0.4
５年	104 (101)	コシヒカリ	10,262	53.8	43.4	2.6	0.2
		ヒノヒカリ	29,583	30.3	65.5	3.5	0.7
		森のくまさん	11,051	5.9	91.7	2.1	0.4
		くまさんの力	2,411	68.7	27.1	3.0	1.2
		くまさんの輝き	10,284	48.9	49.0	1.8	0.4
４年	96 (100)	コシヒカリ	7,978	62.5	31.4	4.4	1.6
		ヒノヒカリ	32,180	27.7	67.8	3.8	0.7
		森のくまさん	10,294	6.6	89.0	3.8	0.6
		くまさんの力	2,791	53.7	37.6	7.3	1.4
		くまさんの輝き	4,253	29.2	62.9	7.3	0.6
３年	97 (101)	コシヒカリ	8,645	53.3	39.8	5.2	1.7
		ヒノヒカリ	32,608	32.3	64.1	2.8	0.8
		森のくまさん	11,352	9.6	88.3	1.4	0.6
		くまさんの力	3,371	71.5	25.1	3.0	0.4
		くまさんの輝き	2,225	92.7	7.2	0.1	－
２年	89 (99)	コシヒカリ	7,951	69.9	26.9	1.9	1.3
		ヒノヒカリ	31,122	24.1	70.1	4.6	1.2
		森のくまさん	10,745	5.0	90.7	3.6	0.7
		くまさんの力	3,042	67.9	31.5	0.5	0.1
		くまさんの輝き	1,291	80.7	18.8	0.5	－
平成元年	94 (99)	コシヒカリ	7,989	41.5	50.1	7.4	1.0
		ヒノヒカリ	29,926	25.1	65.2	8.7	1.0
		森のくまさん	10,709	6.0	80.0	12.9	1.0
		くまさんの力	2,991	44.0	49.1	6.4	0.5
		くまさんの輝き	632	42.2	53.8	4.0	0.0
30	103 (98)	コシヒカリ	8,878	76.7	20.2	2.6	0.5
		ヒノヒカリ	36,320	33.8	63.9	1.8	0.4
		森のくまさん	12,437	11.0	87.1	1.7	0.2
		くまさんの力	3,470	61.1	37.2	1.4	0.4
		くまさんの輝き	456	80.7	19.1	0.3	0.0
29	102 (100)	コシヒカリ	9,531	30.1	60.3	8.0	1.6
		ヒノヒカリ	33,879	37.6	59.3	2.5	0.6
		森のくまさん	12,678	12.7	85.8	1.2	0.3
		くまさんの力	3,466	70.8	27.5	1.4	0.3
28	102 (103)	コシヒカリ	9,723	76.6	19.4	3.4	0.7
		ヒノヒカリ	37,245	26.8	70.3	2.2	0.7
		森のくまさん	14,480	10.1	87.8	1.6	0.5
		くまさんの力	3,501	62.5	33.3	3.6	0.5
27	97 (101)	コシヒカリ	8,859	79.5	18.3	0.9	1.3
		ヒノヒカリ	37,586	55.9	42.6	0.9	0.5
		森のくまさん	15,148	27.6	71.4	0.5	0.5
		くまさんの力	3,970	75.1	23.3	1.1	0.5

（注１）令和６年産は令和７年３月31日現在での数値である。
（注２）作況指数の（　　）は全国平均
（注３）四捨五入の関係で等級比率が100%にならないことがある。
（注４）令和７年産から作況単収指数

九　州　農　政　局
令和７年12月12日 公表

令和７年産水稲の収穫量（九州・熊本）

**令和７年産主食用米の収穫量は前年産に比べ９万４千トン増で
令和元年以来最大となった。**

【調査結果の概要】

１　九州における生産者が使用しているふるい目幅1.80㎜、1.85㎜ベースの収穫量（主食用）※1は73万6,900ｔで、前年産に比べ９万3,700ｔ増加となった。

※１　生産者が使用しているふるい目幅（1.80㎜、1.85㎜）ベースのふるい上米

これは、

①　作付面積（主食用）が14万9,500haで、前年産に比べ１万1,300ha増加となったことに加え、

②　九州の10ａ当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は492kgで、前年産に比べ26kg増加となったためである。

２　九州の作況単収指数は106となった。

参考

九州におけるふるい目幅1.70㎜ベースの収穫量（主食用）※2は76万7,400ｔで、前年産に比べ９万1,400ｔ増加となった。

※２　生産者が使用しているふるい目幅1.80㎜、1.85㎜ベースのふるい下米を含む。

○　令和７年産調査から生産者の実感に合うよう、生産者が使用しているふるい目幅（1.80㎜、1.85㎜）で収穫量を公表することとし、前年産まで収穫量（主食用）として公表していたふるい目幅 1.70㎜の収穫量（主食用）は、令和７年産以降、収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））と表記することとした。

令和７年産九州管内の県別10a当たり収量及び収穫量（収穫期）
（生産者が使用しているふるい目幅ベース）

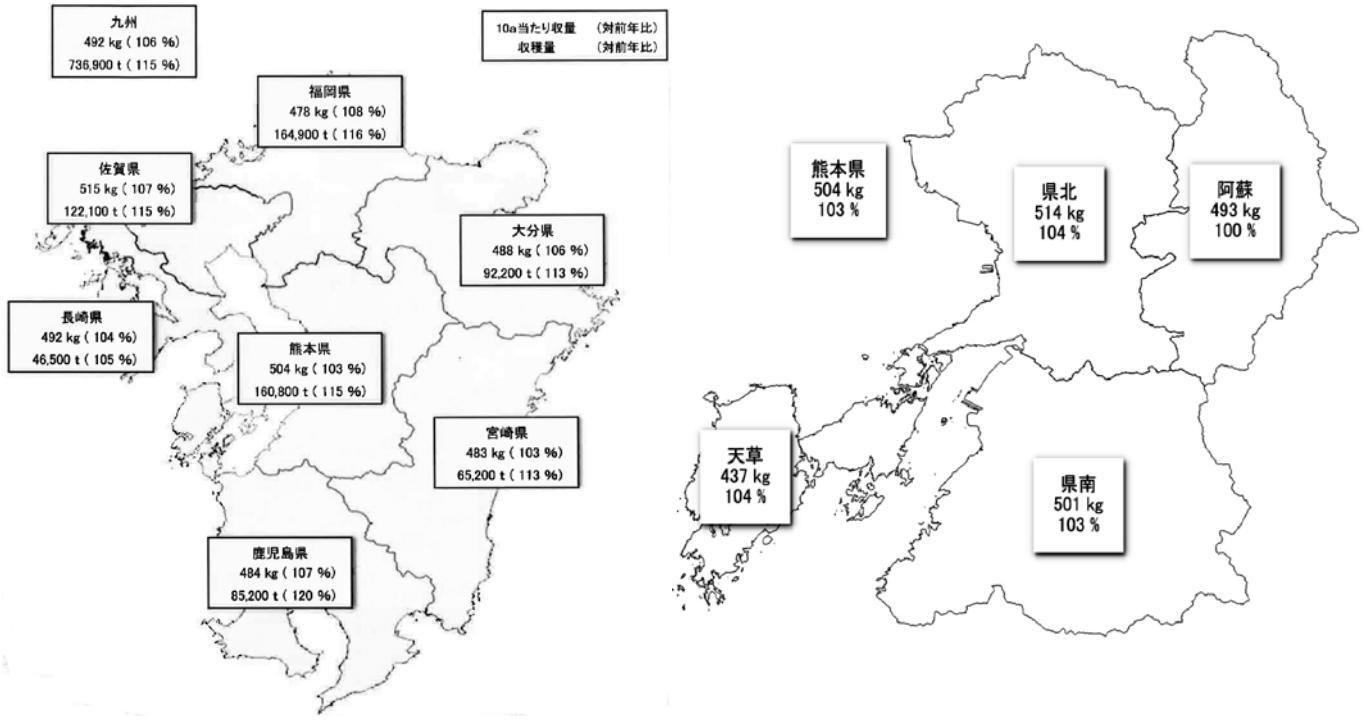


表１　令和７年産水陸稲の収穫

区　分	作付面積（ha）	10a当たり収量（kg）	10a当たり平年収量（kg）	作況指数又は作況単収指数	子実用収穫量（t）
水陸稲計	32,200	525	513	107	169,100
水　　稲	32,200	525	513	107	169,100
陸　　稲	0	－	－	－	0

表２　水陸稲の作付面積、10ａ当たり収量及び収穫量の推移（熊本県）

年　産	作付け面積（ha）	10ａ当たり収量（kg）	作況指数又は作況単収指数	子実用収穫量（t）
令和７年	32,200	525	107	169,100
６年	29,700	516	102	153,300
５年	30,000	518	104	155,400
４年	31,300	501	96	156,800
３年	32,300	484	97	156,300
２年	33,300	470	89	156,500
元年	33,300	483	94	160,800
平成30年	33,300	529	103	176,200
29年	33,300	527	102	175,500
28年	33,800	527	102	178,100
27年	35,600	500	97	178,000
26年	37,500	500	97	187,500
25年	38,400	502	97	192,800
24年	38,100	501	97	190,900
23年	37,900	519	101	193,600
22年	39,500	512	99	202,200
21年	39,700	515	100	204,500
20年	39,700	522	101	207,200
19年	41,000	513	100	210,300
18年	42,000	440	85	184,800
17年	42,700	479	93	204,100
16年	42,300	396	77	167,500
15年	40,900	491	96	200,400
14年	41,900	523	103	219,200
13年	42,800	522	103	223,000
12年	44,000	517	102	227,600
11年	45,000	407	81	182,800
10年	45,300	515	104	232,900

※令和７年産から作況単収指数

農　林　水　産　省
令和７年12月12日 公表

令和７年産水陸稲の収穫量

令和７年産主食用米の収穫量は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで718万１千トン（前年に比べ66万２千トンの増加)。ふるい目幅1.70㎜ベースで746万８千トン（前年に比べ67万６千トンの増加)。収穫量は平成 29 年以来最大の見込み。

【調査結果の概要】

１　令和７年産の水稲の生産者が使用しているふるい目幅（1.80㎜～ 1.90㎜）ベースの収穫量（主食用）※１は718万1,000ｔで、前年産に比べ66万2,000ｔ増加と見込まれる。

※１　生産者が使用しているふるい目幅（1.80㎜～ 1.90㎜）ベースのふるい上米

これは、

①　作付面積（主食用）が、新規需要米や備蓄米等からの転換等があったため、136万 7,000haで、前年産に比べ10万8,000haの増加となったことに加え、

②　全国の10ａ当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は、一部地域で５月上旬から６月中旬にかけての気温や日照時間が前年を下回る地域があったものの、多くの地域で総じて天候に恵まれたため、526kgで、前年産に比べ７kg増加と見込まれるためである。

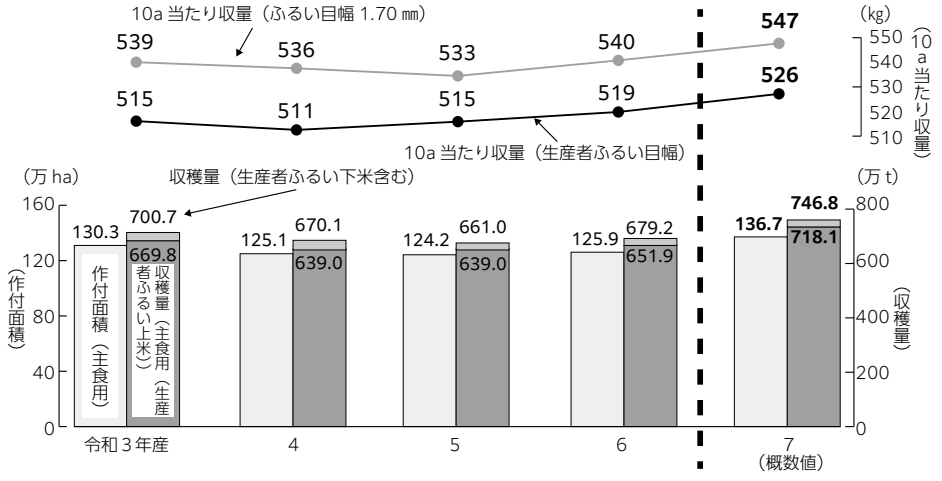
２　全国の作況単収指数は102と見込まれる。

（参考）　令和７年産の水稲のふるい目幅1.70㎜ベースの収穫量（主食用）※２は746万8,000ｔで、前年産に比べ67万6,000ｔ増加と見込まれる。

※２　生産者が使用しているふるい目幅（1.80㎜～ 1.90㎜）ベースのふるい下米を含む。

○　令和７年産調査から生産者の実感に合うよう、生産者が使用しているふるい目幅（1.80㎜～ 1.90㎜）で収穫量を公表することとし、前年産まで収穫量（主食用）として公表していたふるい目幅1.70㎜の収穫量（主食用）は、令和７年産以降、収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））と表記することとした。

図１　水稲の作付面積（主食用）、10ａ当たり収量及び収穫量の推移（全国）



令和７年産水稲の市町村別面積・収穫量

単位　作付面積：ha　10a当たり収量：kg　収穫量：t

		作付面積	10a当たり収量	収穫量
全国		1,425,000	547	7,790,000
福岡		34,900	504	175,900
佐賀		24,000	540	129,600
長崎		9,480	502	47,600
熊本		**32,200**	**525**	**169,100**
大分		19,100	515	98,400
宮崎		15,100	492	74,300
鹿児島		18,500	493	91,200
沖縄		632	314	1,980
熊本	平成16年	42,300	396	167,500
	17年	42,600	479	204,100
	18年	42,000	440	184,800
	19年	41,000	513	210,300
	20年	39,700	522	207,200
	21年	39,700	515	204,500
	22年	39,500	512	202,200
	23年	37,900	519	196,700
	24年	38,100	501	190,900
	25年	37,900	519	196,700
	26年	37,500	500	187,500
	27年	35,600	500	178,000
	28年	33,800	527	178,100
	29年	33,300	527	175,500
	30年	33,300	529	176,200
	令和元年	33,300	483	160,800
	２年	33,300	470	156,500
	３年	32,300	484	156,300
	４年	31,300	501	156,800
	５年	30,000	518	155,400
	６年	29,700	516	153,300
	７年	32,200	525	169,100
熊本市		4,190	546	22,900
宇土市		695	540	3,750
宇城市		1,800	533	9,570
美里町		350	489	1,710
玉名市郡	荒尾市	360	511	1,840
	玉名市	2,420	542	13,100
	玉東町	130	515	670
	南関町	383	517	1,980
	長洲町	279	530	1,480
	和水町	511	505	2,580
	市郡計	4,083	530	21,650
山鹿市		2,300	540	12,400
菊池市郡	菊池市	1,650	533	8,820
	合志市	257	525	1,350
	大津町	77	552	425
	菊陽町	121	549	664
	市郡計	2,105	535	11,259
阿蘇市郡	阿蘇市	2,040	510	10,400
	南小国町	196	500	980
	小国町	249	498	1,240
	産山村	153	488	747
	高森町	206	519	1,070
	西原村	79	534	422
	南阿蘇村	918	533	4,890
	市郡計	3,841	514	19,749
上益城郡	御船町	532	547	2,910
	嘉島町	226	558	1,260
	益城町	764	546	4,170
	甲佐町	412	536	2,210
	山都町	1,130	521	5,890
	郡計	3,064	537	16,440
八代市郡	八代市	4,250	525	22,300
	氷川町	448	536	2,400
	市郡計	4,698	526	24,700
芦北市郡	水俣市	133	478	636
	芦北町	385	499	1,920
	津奈木町	55	487	268
	市郡計	573	493	2,824
球磨市郡	人吉市	400	513	2,050
	錦町	429	501	2,150
	多良木町	664	480	3,190
	湯前町	285	505	1,440
	水上村	130	488	635
	相良村	171	485	829
	五木村	7	400	28
	山江村	106	484	513
	球磨村	33	482	159
	あさぎり町	1,010	513	5,200
	市郡計	3,235	501	16,194
天草市郡	上天草市	160	488	780
	天草市	1,030	446	4,580
	苓北町	126	476	600
	市郡計	1,316	453	5,960

令和７年産水稲全国都道府県別順位

順位	都道府県	作付面積子実用(ha)	都道府県	10a当たり収量(kg)	都道府県	収穫量子実用(t)	都道府県	10a当たり平年収量(kg)	都道府県	作況単収指数
	全国	1,425,000	全国	547	全国	7,790,000	全国	514	全国	102
1	新潟	117,700	長野	626	新潟	637,900	長野	593	徳島	108
2	北海道	100,700	青森	619	北海道	578,000	青森	590	山口	107
3	秋田	87,400	山形	612	秋田	513,900	山形	572	佐賀	107
4	茨城	68,800	秋田	588	茨城	364,000	北海道	561	熊本	107
5	福島	68,000	北海道	574	福島	387,600	秋田	544	長崎	107
6	宮城	68,000	福島	570	宮城	378,100	福島	541	大分	107
7	山形	62,300	千葉	557	山形	381,300	千葉	541	福岡	107
8	栃木	60,000	宮城	556	栃木	327,000	岩手	530	和歌山	106
9	千葉	54,800	岩手	556	千葉	305,200	宮城	528	京都	106
10	岩手	48,100	富山	547	岩手	267,400	栃木	520	鳥取	106
11	青森	44,300	山口	547	青森	274,200	茨城	518	島根	106
12	富山	35,600	栃木	545	富山	194,700	富山	518	滋賀	105
13	兵庫	35,200	広島	544	兵庫	181,600	新潟	516	兵庫	105
14	福岡	34,900	島根	543	福岡	175,900	山梨	511	鹿児島	105
15	熊本	32,200	新潟	542	熊本	169,100	広島	509	広島	104
16	埼玉	31,000	佐賀	540	埼玉	146,600	奈良	507	奈良	104
17	長野	30,600	滋賀	536	長野	191,600	石川	500	愛媛	104
18	滋賀	29,800	京都	536	滋賀	159,700	岡山	496	静岡	104
19	岡山	28,600	奈良	535	岡山	151,600	愛媛	494	香川	104
20	愛知	26,600	和歌山	534	愛知	132,500	和歌山	494	三重	104
21	三重	26,000	鳥取	533	三重	132,600	山口	492	高知	104
22	福井	24,500	福井	532	福井	130,300	京都	491	長野	103
23	佐賀	24,000	石川	532	佐賀	129,600	鳥取	490	秋田	103
24	石川	22,900	岡山	530	石川	121,800	静岡	485	岡山	103
25	岐阜	21,900	茨城	529	岐阜	108,600	島根	484	福井	103
26	広島	20,500	山梨	528	広島	111,500	香川	484	岐阜	103
27	大分	19,100	熊本	525	大分	98,400	佐賀	483	山形	102
28	鹿児島	18,500	静岡	522	鹿児島	91,200	群馬	483	福島	102
29	山口	17,200	香川	518	山口	94,100	埼玉	481	新潟	102
30	島根	16,200	愛媛	517	島根	88,000	滋賀	481	宮崎	102
31	宮崎	15,100	兵庫	516	宮崎	74,300	福井	480	神奈川	102
32	群馬	15,000	大分	515	群馬	75,600	大阪	479	青森	101
33	静岡	14,800	徳島	514	静岡	77,300	愛知	476	千葉	101
34	京都	13,600	三重	510	京都	72,900	三重	475	岩手	101
35	愛媛	12,800	福岡	504	愛媛	66,200	兵庫	474	石川	101
36	鳥取	12,000	群馬	504	鳥取	64,000	宮崎	473	群馬	101
37	高知	10,600	長崎	502	高知	49,600	岐阜	472	愛知	101
38	徳島	10,300	神奈川	501	徳島	52,900	神奈川	472	東京	101
39	香川	10,200	愛知	498	香川	52,800	熊本	471	栃木	100
40	長崎	9,480	岐阜	496	長崎	47,600	徳島	462	山梨	100
41	奈良	7,770	鹿児島	493	奈良	41,600	鹿児島	461	大阪	100
42	和歌山	5,600	宮崎	492	和歌山	29,900	長崎	458	宮城	99
43	山梨	4,630	大阪	491	山梨	24,400	大分	456	富山	99
44	大阪	4,100	埼玉	473	大阪	20,100	福岡	448	沖縄	99
45	神奈川	2,840	高知	468	神奈川	14,200	高知	443	北海道	98
46	沖縄	632	東京	418	沖縄	1,980	東京	404	茨城	98
47	東京	112	沖縄	314	東京	468	沖縄	314	埼玉	96

注：作付面積は、青刈り面積を除いた子実用の作付面積である。

水稲累計統計（熊本）

（単位：ha, kg,トン）

年　次	作付面積	10a当たり収量	収 穫 量	作況指数又は 作況単収指数	10a当たり平年収量	備　考
昭和 36	76,700	387	297,000	102	381	
37	76,700	400	307,000	102	392	
38	76,200	416	317,300	105	396	
39	76,000	415	315,500	103	402	
40	76,300	412	314,400	101	407	
41	76,600	470	360,000	115	407	
42	77,600	486	377,100	119	407	
43	79,400	457	362,900	108	422	
44	79,900	469	374,700	105	447	
45	71,700	418	299,700	91	461	９月中旬以降寡照
46	66,700	416	277,500	90	463	台風19号
47	65,600	488	320,100	105	464	
48	67,100	462	310,000	100	464	
49	70,300	478	336,000	103	464	
50	41,900	501	360,200	108	464	
51	72,500	442	320,500	95	467	台風17号
52	72,300	492	355,700	105	467	
53	67,000	500	335,000	106	470	
54	64,600	491	317,200	104	473	
55	61,500	430	264,500	91	475	台風13、16号
56	58,900	505	297,400	106	475	
57	58,300	463	269,900	97	479	台風10、13、18、19号
58	58,900	475	279,800	99	479	
59	60,100	505	303,500	105	479	
60	61,100	487	297,600	101	481	
61	60,200	520	313,000	108	483	
62	54,800	462	253,200	95	486	風水害、日照不足
63	53,600	525	281,400	108	486	
平成 元	52,800	517	273,000	106	488	
2	52,200	497	259,400	101	492	
3	51,300	416	213,400	84	494	台風19号、生育期寡照
4	53,000	492	260,800	100	494	
5	53,500	378	202,200	77	494	長雨、低温、日照不足
6	56,600	570	322,600	115	494	
7	52,400	522	273,500	106	494	
8	49,200	512	251,900	104	494	
9	48,800	495	241,600	100	495	
10	45,200	515	232,800	104	495	
11	44,900	407	182,700	81	500	台風18号
12	44,000	517	227,500	102	505	
13	42,700	522	222,900	103	505	
14	41,900	523	219,100	103	509	
15	40,800	491	200,300	96	511	
16	42,300	396	167,500	77	512	台風16、18号
17	42,600	479	204,100	93	515	台風14号
18	42,000	440	184,800	85	515	台風13号
19	41,000	513	210,300	100	515	
20	39,700	522	207,200	101	515	
21	39,700	515	204,500	100	515	
22	39,500	512	202,200	99	515	
23	37,900	519	196,700	101	515	東日本大震災
24	38,100	501	190,900	97	515	九州北部豪雨
25	38,400	502	192,800	97	515	
26	37,500	500	187,500	97	515	日照不足、ウンカ
27	35,600	500	178,000	97	515	日照不足、いもち病、台風15号
28	33,800	527	178,100	102	513	
29	33,300	527	175,500	102	513	
30	33,300	529	176,200	103	513	
令和 元	33,300	483	160,800	94	513	台風17号、ウンカ
2	33,300	470	156,500	89	513	７月豪雨、台風９・10号、ウンカ
3	32,300	484	156,300	97	513	
4	31,300	501	156,800	96	513	台風14号
5	30,000	518	155,400	104	513	
6	29,700	516	153,300	102	513	令和の米騒動
7	32,200	525	169,100	107	513	

※令和７年度から作況単収指数